

【平成 29 年度下半期 定例分】

市民と市長と気楽にトークでの意見交換についてご紹介します。

市民の方から	市長から
<p>旧柳井商業高等学校跡地に図書館を建てることになった経緯を教えてください。</p>	<p>旧柳井商業高校跡地の周辺には文化・教育関連施設が集積しています。その中心として専門学校・大学の一部機関の誘致を検討していましたが費用負担の面で断念した経緯があります。そうしたなか、跡地は「文教ゾーン」に相応しい学びあいの場として活用していきたいという思いを持っています。図書館のイメージが先行していますが、複合的な施設として、ここでどのような活動をするのかも含め市民の皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと考えています。</p>
<p>柳井市文化福祉会館が老朽化しています。図書館と一緒に新しく作れば良いと思います。</p>	<p>使用できるものは出来る限り使用していきたいと考えておりますので、文化福祉会館の建物は今後も使用していきます。しかし将来的には老朽化していくのでどうすべきか検討していく必要があります。</p>
<p>旧柳井商業高等学校跡地に図書館や弓道場が建つと聞きましたが、今の図書館や弓道場はどうする予定ですか？</p>	<p>現在の弓道場用地は民間へ売却し活用いただきたいと考えています。今の図書館については、これから皆さんで色々なアイデアを出し合っていきます。</p>
<p>新しい図書館にはカフェが併設されるとのことですが、軽食もできれば良いと思います。</p>	<p>図書館の中を具体的にどのようにするかはこれから検討していくこととなりますが、皆さんがゆっくり過ごせる場所にと考えています。</p>
<p>旧柳井商業高等学校跡地について、弓道場や図書館では特定の人しか集まらないと思います。色々な人が集まれる施設にしてほしいです。</p>	<p>複合施設として子供からお年寄り、家族連れなど色々な人が寄り合える場になるようにと考えています。</p>
<p>図書館の開館時間が短いと仕事をしている人にとっては使いにくいと思います。開館時間の工夫を望みます。また、図書館は司書の資質が大事です。しっかりとした人材がいる図書館にして欲しいです。</p>	<p>利用者が使いやすい施設になるように検討していきます。人材育成、配置も同様です。</p>
<p>弓道場は老朽化していて建て替えなければならないのはわかりますが、なぜ現地ではなく、旧柳井商業高等学校跡地に建てるのでしょうか。</p>	<p>現在の弓道場は南浜にありますが、現地での建て替えは弓道場のために駐車場、トイレ、更衣室等を整備する必要があり、過大な建設コストが発生します。旧柳井商業高校跡地に弓道場、図書館を含めた複合的な施設を整備することによって色々な機能を共有し、コストを抑制することが出来ると考えています。</p>

市民の方から	市長から
<p>弓道場を建て替えるということですが、現在から将来に向かっての需要についてどのように捉えていますか。</p>	<p>現在、柳井市の弓道連盟の方々、柳井高校の弓道部等が利用されており、活発に利用されていくと認識しています。</p>
<p>「山口県の文学者 80 人」に柳井市縁の 3 名が選ばれています(国木田独歩、弘津千代、宗野真幌)。新しい図書館にはこの方達の資料や関係図書が閲覧できるコーナーがあればいいと思います。</p>	<p>そういう取り組みが図書館のあり方であり、そういったご提案を今後もぜひしていただきたいと思います。また、今年は独歩没後 110 年の年になりますので、ひとつづくりアカデミーの開催なども予定しています。</p>
<p>新しく就任された参与の 6 つの特命事項とは何でしょうか。</p>	<p>参与には、旧柳井商業高等学校跡地の利活用、柳井平生バイパスの整備、水道高料金対策、広域行政、企業誘致を含む遊休地の利活用、岩国基地の騒音問題について県との連絡調整などで力を発揮してもらいます。</p>
<p>コンパクトシティの構想はどうなったでしょうか。県から参与が来られて、6 つの課題に取り組みされるということですが、その中にコンパクトシティのことは入っていますか。</p>	<p>参与が取り組む 6 つの課題には「遊休地の利活用」があり、その中に新明和工業の跡地も含まれています。新明和工業の跡地については、コンパクトなまちづくりと企業誘致の両面を模索しながら、県とも連携し取り組んでいきます。</p>
<p>岩国基地の米軍機の騒音問題について、市はどう対応されていますか。</p>	<p>米軍機の騒音問題についての指摘は近年とても増えています。市としては、騒音で市民の方が困っている実態を国、防衛局に伝え続けていくので、今後とも皆さんからの情報をお寄せいただきたいと思います。</p>
<p>熊本地震の時に、自治体が指定していた避難場所が使えないということがあり、そのとき地元主体の訓練等が役に立ったそうです。地元の繋がりが大切で、全てを行政がやるのではなく、地元で任せることも大切だと思います。</p>	<p>地元の繋がりが大切というのはおっしゃるとおりです。この度、柳井市防災計画を見直す予定で、自主防災の機能を自治会に担っていただき、避難所運営等も自治会で担っていただくことをめざしていきます。</p>
<p>広報の紙面の中に個人の意見や、俳句、短歌、詩などを載せてもいいのではないかと思います。</p>	<p>広報の発行について色々な意見がありますが、印刷経費、人件費を踏まえると、一部あたりの単価は決して安くありません。現状は、紙面をできるだけスリム化し、極力経費がかからない形で作成しています。そうしたことから、紙面を充実させるのは素晴らしいことですが、現状は中々難しいと言わざるを得ません。</p>

市民から	市長から
<p>近所の農地が荒れていて、草刈りをしてほしいのですが、市から勧告できるのでしょうか。また、近所の空き家についても危険な状態で放置されています。</p>	<p>耕作放棄地は農業委員会で把握しており、文書でお願いをして対応しているケースも結構あります。危険な空き家については都市計画・建築課から文書や電話で地道に対応をお願いしていますが、持ち主が県外にいるなどの理由により、難しい課題となっています。そうしたなか、現在空き家対策として、行政代執行ができるような仕組みを考えています。</p>
<p>阿月の宇積に大きなソーラーパネルが設置されています。せっかくの風光明媚な土地にそぐわないと思います。</p>	<p>民間事業者が法令に則って事業をされているので、行政として事業を推奨するもしないとも言えませんが、現場での対応に不備があれば、県とも協力して対応します。</p>
<p>柳井広域の水道料金はなぜ高いのでしょうか。</p>	<p>渇水の問題解決のため弥栄ダムの水を引き、周防大島や上関までの水道管を繋ぐ工事をしました。現在は、当時の工事費と維持管理の経費が重くのしかかっていますが、渇水の心配は少なくなりました。</p>
<p>柳井市で起業を考えています。創業に対する補助金のような制度はありますか。</p>	<p>創業支援の制度は色々ありますので、商工観光課にご相談いただけたら個別具体的なご提案ができると思います。</p>
<p>柳井港の近辺にはお店が少ないので道の駅などを整備したらどうでしょうか。</p>	<p>新しいポートビルの整備の時に出店の募集をしましたが、希望される業者はおられませんでした。駐車場の問題に加え、ふれあいどころ437、大島観光センターもある中で、公共で同種の施設を建設していくことは課題が多いかと思います。</p>